

○計画策定の趣旨

平成 25 年 1 2 月に議員立法により「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」(以下「基本法」という。)が成立し、同月に公布・施行されたことにより、国において平成 26 年 6 月に「国土強靱化基本計画」が策定されました。

また、兵庫県においても平成 28 年 1 月に「兵庫県強靱化計画」が策定(令和 2 年 3 月改定)されている。このような状況を踏まえ、本町においても基本法第 1 3 条に基づき、発生する可能性のある大規模自然災害を想定し、事前の備えから被災時における対策等について、各課が個別に作成している計画等を把握することで円滑に連携を図り、被害を最小限に留め迅速に復旧復興を行う体制づくりを推進します。

○計画期間

令和 2 年度から概ね 5 年間とする。ただし、計画期間中も必要に応じて見直しを行います。

○基本目標

香美町国土強靱化地域計画は、国の基本計画や兵庫県強靱化計画を踏まえ、次の 4 つの基本目標を設定し関連施策の推進に努めることとします。

- ① 人命の保護を最大限図ること
- ② 社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること
- ③ 町民の財産及び公共施設に係る被害を最小化すること
- ④ 被害の迅速な復旧復興が図られること

○事前に備えるべき目標

基本目標の実現に向け、8 つの事前に備えるべき目標を設定しました。

- ① 直接死を最大限防ぐ
- ② 救助・救急、医療活動等が迅速に行われる
- ③ 必要不可欠な行政機能は確保する
- ④ 必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する
- ⑤ 経済活動を機能不全に陥らせない
- ⑥ ライフラインを確保するとともに早期復旧を図る
- ⑦ 制御不能な複合災害・二次災害を発生させない
- ⑧ 地域社会・経済が迅速に再建・回復ができる条件を整備する

○対象とする災害

本計画で対象とする災害は、兵庫県強靱化計画で示されている大規模自然災害に本町が直面している危機を踏まえて設定しています。

(想定した災害の種類)

風水害、土砂災害、雪害、大規模火災、武力攻撃、複合災害

○脆弱性の評価

8 つの事前に備えるべき目標の妨げとなる「起きてはならない最悪の事態(リスクシナリオ)」を設定し、最悪の事態を回避するための事業を整理することにより課題の抽出及び必要な取組を分析しました。

脆弱性の評価の手法としては、国が示した評価手法を参考に実施しました。

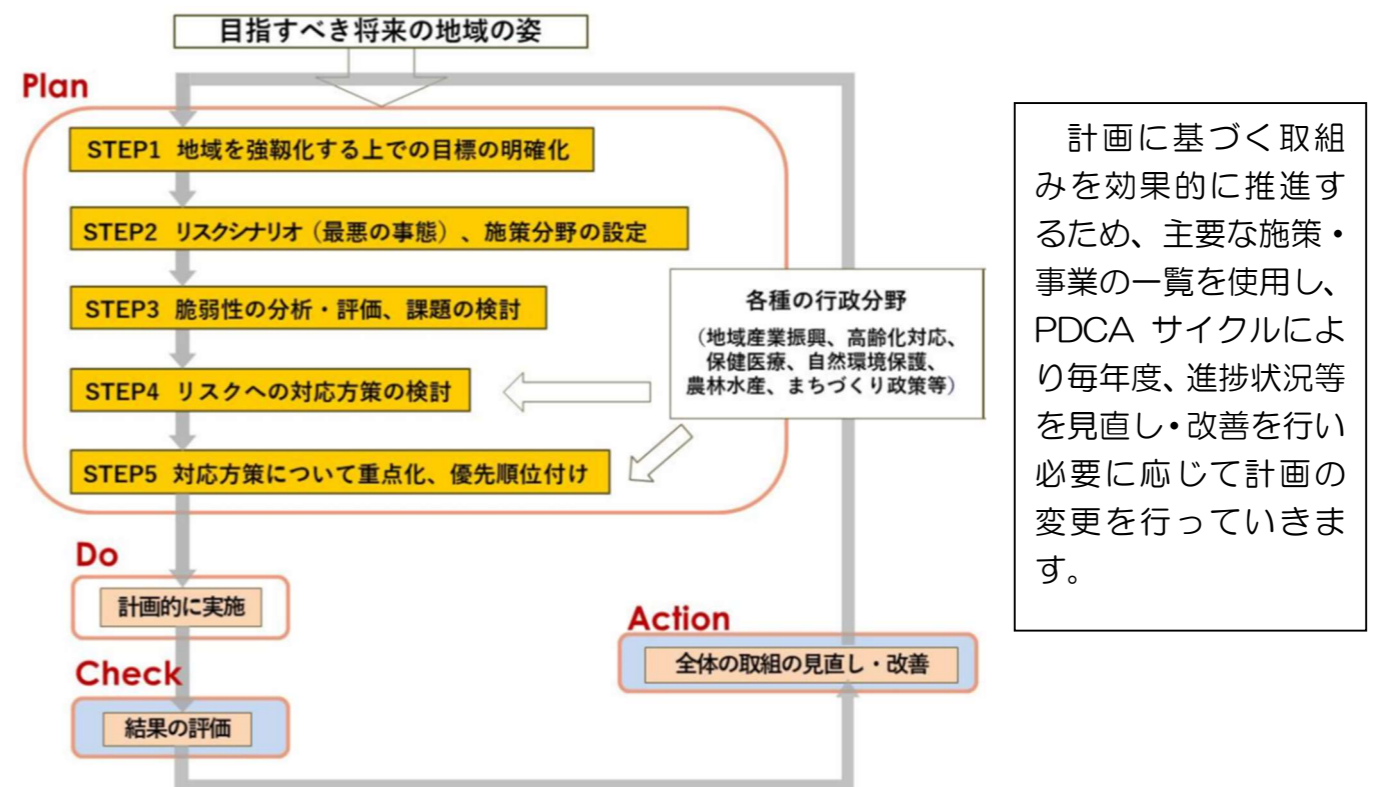
- ① 8 つの事前に備えるべき目標の妨げとなる「起きてはならない最悪の事態(リスクシナリオ)」を設定
- ② リスクシナリオに関連する施設分野を設定
- ③ リスクシナリオを縦軸に、施設分野を横軸にした「マトリクス表」を作成し、最悪の事態を回避するに寄与する既存の事業を整理
- ④ 「マトリクス表」を用いて、最悪の事態を回避するための課題及び必要な取組を分析

○施策の重点化

本町において、多くの犠牲者が想定される災害が発生した場合においても、確実な避難行動や災害に強いまちづくりの実現等により、一人の犠牲者も出さないという決意を持って取組みを進めるため「人命の保護を最大限に図る」ことを最重要目標として設定しました。

この目標を実現するため、リスクシナリオに該当する施策や事業を「重点化すべき施策」として位置付けを行いました。

○計画の進捗管理と見直し



香美町国土強靱化地域計画 概要版

事前に備えるべき目標に対し、次のとおり、「起きてはならない最悪の事態(リスクシナリオ)」を設定しました。

これらのリスクシナリオを回避するために課題を抽出し、推進すべき事業等を確認した上で、リスクシナリオに対する対応方策により、実施すべき事業などを整理しました。

事前に備えるべき目標	起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）	
①直接死を最大限防ぐ	1-1	建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や不特定多数が集まる施設の倒壊による多数の死傷者の発生
	1-2	大規模津波等による多数の死傷者の発生
	1-3	異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の浸水による多数の死傷者の発生
	1-4	大規模な土砂災害等による多数の死傷者の発生
	1-5	暴風雪や豪雪等に伴う多数の死傷者の発生
②救助・救急、医療活動等が迅速に行われる	2-1	被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の停止
	2-2	多数かつ長期にわたる孤立地域等の同時発生
	2-3	自衛隊、警察、消防、海保等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足
	2-4	医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、エネルギー供給の途絶による医療機能の麻痺
	2-5	被災地における疫病・感染症等の大規模発生
③必要不可欠な行政機能は確保する	3-1	行政機関の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下
④必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する	4-1	電力供給停止等による情報通信の麻痺・機能停止
⑤経済活動を機能不全に陥らせない	5-1	サプライチェーンの寸断等による地元企業の生産力低下
	5-2	交通ネットワークの機能停止
	5-3	食料等の安定供給の停滞
⑥ライフラインを確保するとともに早期復旧を図る	6-1	電力供給ネットワーク（発電所、送配電設備）や石油・LPガス、サプライチェーン等の機能停止
	6-2	上水道等の長期間にわたる供給停止
	6-3	汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止
	6-4	地域交通ネットワークが分断する事態

事前に備えるべき目標	起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）	
⑦制御不能な複合災害・二次災害を発生させない	7-1	大規模火災の発生による多数の死傷者の発生
	7-2	ため池、天然ダム等の損壊・機能不全や堆積した土砂流出による多数の死傷者の発生
	7-3	農地、森林等の荒廃による被害の拡大
⑧地域社会・経済が迅速に再建・回復ができる条件を整備する	8-1	大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復興が大幅に遅れる事態
	8-2	復興を支える人材等（専門家、コーディネーター等）の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態
	8-3	地域コミュニティの崩壊等により復旧・復興が大幅に遅れる事態
	8-4	基幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態
	8-5	広域・長期にわたる浸水被害の発生により復旧・復興が大幅に遅れる事態

【重点化すべき施策】

香美町国土強靱化地域計画において、重点化の目標として掲げた「人命の保護を最大限に図る」の実現に向け次のリスクシナリオに該当する施策や事業を重点化すべき施策として位置付けました。

1-3	異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の浸水による多数の死傷者の発生
1-4	大規模な土砂災害等による多数の死傷者の発生
2-2	多数かつ長期にわたる孤立地域等の同時発生
5-2	交通ネットワークの機能停止
8-2	復興を支える人材等（専門家、コーディネーター等）の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態